

青年部 食育事業

「夏休み子供農業体験日記」



当組合青年部（山口真也部長）は本年度の重点事業として、8月20日に札内地区の子供たちを対象とした食育事業に取り組みました。農業とは疎遠な市街地の親子に地場農畜産物への理解を深めてもらうことを目的に企画され、親子36名が参加し、農作業体験を通して農業とじかにふれあいました。

この体験メニューは農協農産施設の見学や、部員の中井政裕さん古舞宅の圃場での大根・ジャガイモ収穫、トラクター試乗など、普段は収穫現場を間近に見る機会がないだけに、子供たちは農業のスケールの大きさに大喜びでした。青年部では次代を担う子供たちとのふれあいを通して「安心・安全な地域農業」をPR。今後も体験事業を通して農業と地域住民との交流を広げ、食育や地産地消を推進していく考えです。



札内の親子 36名が体験

